

桜川市田園都市づくりマスタープラン



# 桜川市 田園都市づくり マスタープラン

茨城県 桜川市

平成31年2月27日  
茨城県桜川市

# 目次

はじめに	2	第3章 土地利用基本計画	63
序章 桜川市の現状とこれまでの軌跡	4	1. 土地利用基本方針	63
1. 桜川市の地理・地勢	4	2. 土地利用調整方針	66
2. 桜川市の成り立ち	4	3. 計画区分	73
3. 加速する人口減少・少子高齢化	5	4. 計画区分別土地利用方針	75
4. 産業構造の転換	7	5. 土地利用検討エリア	89
5. 法適用の経緯	9	第4章 実現方策	96
6. インフラの整備水準	13	1. 区域区分の変更	96
7. 公共交通の再編	13	2. 地域地区の決定及び変更	98
8. 建築・開発の動向	14	3. 都市施設の整備	101
9. 行政リソースの縮小	14	4. 市街地開発事業の決定及び変更	106
第1章 計画のあらまし	16	5. 地区計画の決定	108
1. 目的	16	6. 景観計画の策定	111
2. 役割	16	7. 各種提案制度の活用	112
3. 対象範囲	18	8. 各種協定制度の活用	112
4. 計画期間	20	9. 開発許可制度の権限移譲	113
5. 目標人口	21	10. 桜川市土地利用基本条例の適切な運用	114
第2章 桜川市の目指すべき将来都市像	22	11. 分野別施策との適切な連携	116
1. 桜川市の目指すべき将来都市構造	22	12. 企業・大学・研究機関との連携強化	117
2. 拠点別の将来都市像	32	13. 立地適正化計画の策定	117
3. 集落の維持・活性化	43	14. 個別計画への委任	118
4. 交通ネットワークの構築	50	第5章 重点政策テーマ	120
5. 良好な景観の形成と観光・交流の促進	53	1. 長方・大和駅北地区開発プロジェクト	120
6. 防災と減災の推進	56	2. 地区計画を主軸とする都市計画新制度構築プロジェクト	126
7. 水と緑との共生	59	資料編	136
8. バリアフリーとユニバーサルデザイン	61		
9. 分野別基本計画との適切な連携	62		



## はじめに

茨城県桜川市は、関東平野の北東端に在って、八溝山系の南端に当たる筑波山地西麓に位置します。筑波連峰とも称せられる山々は、ヤマザクラの群生地として市の景色を彩るとともに、古くから信仰の対象として人々の心の拠り所となってきました。ヤマザクラが群生する土壌で涵養された水源はやがて湧水となり、支流と交わって市の名称の由来である一級河川・桜川をかたち作ります。その沿岸には肥沃な農耕地帯が培われ、山々から採掘される良質な花崗岩は、近代以降における市の経済発展の礎となってきました。

このような風土とその恵沢の下、先人達の紡ぐ多彩な営みのなかで醸成されてきた桜川市固有の都市構造は、複数の

種子に枝葉を芽吹かせ、それらが密接にかかわり合うことで成立する有機連携型都市構造です。桜川市は古来、都市と農村とが相互に機能を補完し、人と自然とが共生し支え合うことで稔り豊かな暮らしを持続させてきました。

成熟と縮退の時代を迎えた今日、我々は、この都市と農村と神秘なる山々とが織り成すかけがえのない風景が、先人達から受け継いだ共有の資産であることを自覚し、創意工夫と多様性に富んだ質の高い土地利用によってその価値を一層高め、次世代へと継承していかなければなりません。

その実現を果たすための都市づくりの指針として、ここに「桜川市田園都市づくりマスタープラン」を策定します。



雨引山頂より

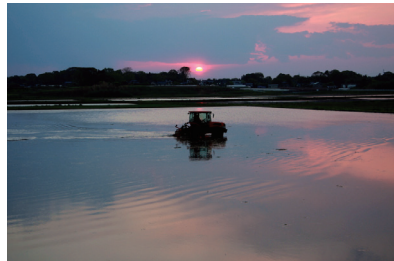




平沢高峯のヤマザクラ



一枚岩の滝



雨引山楽法寺マダラ鬼神祭



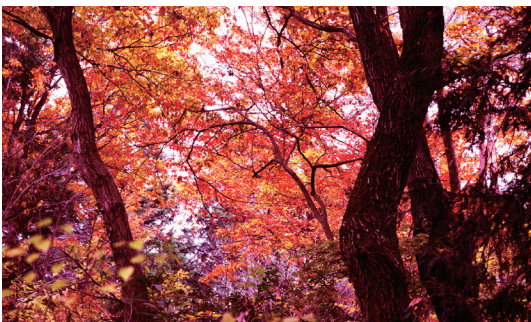
かったて祭の花火



真壁祇園祭



岩瀬駅前夏祭



富谷山の紅葉

